

# 海境の文化資源 対馬仏像盗難事件と「たけしま」から考える

Cultural Resources of the Sea Boundary: Viewed from the Robbery of the Tsushima Buddha Statues and "Takeshima"

1

俵 寛司 TAWARA Kanji (韓国 嶺南大学校・国際文化資源学研究センター客員研究員)

現代に生きる対馬の文化資源：仏像盗難事件を考えなおす

The Modern Use of the Cultural Resources on the Tsushima Islands  
Rethinking the Robbery of the Buddha Statues in Historical and Cultural Perspectives

2

福原 裕二 FUKUHARA Yuji (島根県立大学)

「たけしま」から日韓の文化資源について考える

Cultural Resources between Japan and Korea, with Special Reference to "Takeshima"

3

対話：俵 寛司 × 福原 裕二 × 参加者

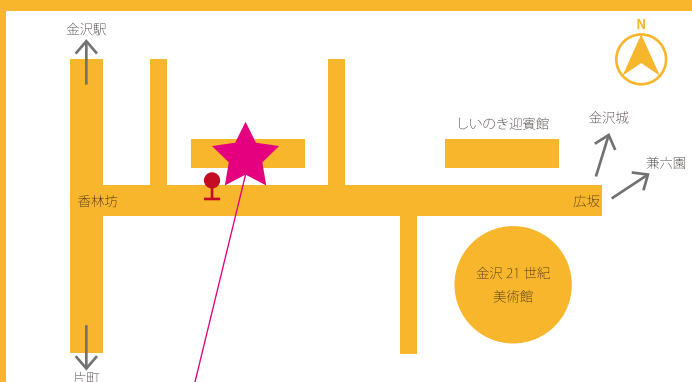
司会：山形 真理子 YAMAGATA Mariko (国際文化資源学研究センター)

Dialogue: TAWARA Kanji × FUKUHARA Yuji × Participants

2014

7 / 12  
(土)

13:30 ~ 17:30



場所：石川県四高記念文化交流館 多目的利用室 5

金沢駅より：北鉄バス 香林坊中央公園前 下車すぐ

いまま未解決の仏像盗難事件、そして領土問題。日韓のはざまで係争の火種を抱える対馬と「たけしま」つまり鬱陵島は、古来、海を越えて行き来する人と物が交錯する「海境」でした。

そこで暮らす人々と彼らが守り伝えてきた文化資源という視点から、今日の困難な二国間関係を考えなおすことは可能でしょうか。

対馬出身の考古学者と北東アジア国際関係の専門家が、「海境」とその文化資源の可能性について語ります。

\* 使用言語は日本語です。Official Language is Japanese.

問い合わせ 山形 真理子

Tel: 076-264-5988 E-Mail: myamagata@staff.kanazawa-u.ac.jp